

取扱説明書ご参照上のご注意

* こちらの商品は、製造時期によって
ご参照いただく取扱説明書が異なります。

■ 新タイプの場合

⇒ 2～3 ページの ARQ-012Q を参照ください

光センサーによる秒針停止機能付き

■ 旧タイプの場合

(2010年まで製造していました)

⇒ 4～5 ページの ARQ-009J を参照ください

光センサーによる秒針停止機能無し

必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

警告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

注意

<掛け方について>

時計は**確実に掛けてください**。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充て耐えられる掛け具を選んでください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かして、正しく掛かっていることを確認してください。



木の厚い壁・木の柱に掛けたとき
添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けたとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では**使わないでください**。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
温度が-10（氷点下10度）以下になる所。
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]
- 塵、埃の多い所。
[空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。]
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
[磁場の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。]
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
振動のある所。不安定な所。
工場、台所など多くの油を使用する所。
[霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。]
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

高圧ノイズを発生させるもの近く。
電圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れが大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様 ▶

- 精度：平均月差±2.0秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温5 から35 で使用した場合)
- 表示精度：±1秒(時分針は±3度)
(電波受信による時刻修正を行なった直後)
- 使用温度範囲：-10 ~ +50
- 使用電池：単2アルカリ乾電池2個(JIS規格LR14)
単3マンガン乾電池1個(JIS規格R6P)
単3アルカリ乾電池(JIS規格LR6)もご使用になれます。
- 電池寿命：約1年
(下記報時の設定で、1日につき音量(中)の状態で16回報時した場合)
- 電波受信機能：自動受信(1日8回)
(受信から次の受信まではクオ・ツの精度で動いています。)
手動受信(強制受信)
4.0kHz, 6.0kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
- 受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
- 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
- 報時：ウエストミンスター・チャイム + 数取りウエストミンスター・チャイムの四所打ち(正時には数取りも行きます)
正時数取りのみ
- の切替式
- 夜間鳴止め機能：光センサーによる自動鳴止め
(「常時鳴らす」暗時鳴止め「鳴止め」の切替式)
- 光センサーによる自動針止機能：暗くなると「12時の位置」で停止します。
(切替スイッチAが「常時鳴らす」の場合は無効)
- 音量調節：無段階降

*上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス ▶

この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店が預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご相談ください。
保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
この時計の修理用部品は、7年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
修理のとき、部品・その他の付属品は、-部代替部品を使用させていただきます。ご了承ください。
保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただけます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。
ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

(例：AM、PW、KG など)

フリーダイヤル
お客様相談室 ☎ 0120-315-474

http://www.seiko-cbck.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

⑥

説明書番号 ARQ-012Q

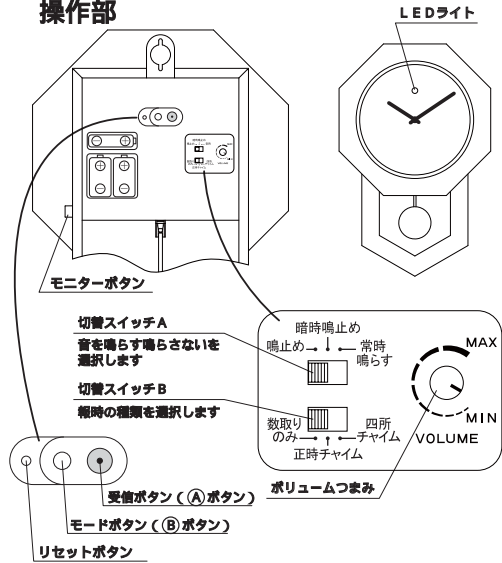
故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。 ・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2-3回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・裏面「電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
チャイムが鳴らない	・切替スイッチAが 鳴止め になっている。 ・ボリュームが下がっている。 ・暗くなりセンサーが作動している。	・スイッチを 常時鳴らす または 鳴止め止め にしてください。 ・ボリュームを上げてください。 ・切替スイッチAが 常時鳴らし になっていると暗くなるとチャイムは鳴りません。時計の周囲が明るくなるまで鳴ります。
振り子が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・振り子がロックされている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・裏面「ご使用方法」にしたがって、振り子のロックをはずしてください。

ご使用方法

操作部



ご注意

時計のデザインによりLEDライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



ご使用方法

1. ふたを開けてください

裏ぶたを上にはきあげて開けてください。

2. 電池を入れてください

(単2アルカリ乾電池2個、単3マンガン乾電池1個)

⊕⊖をまちがえないように注意してください。
単3マンガン乾電池は、単3アルカリ乾電池もご使用になります。

3. リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。

(1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10)

受信中(最長約20分間)はLEDライトが信号に応じて点灯します。

(右記「受信状態について」をご覧ください。)

受信に成功した場合

LEDライトが「緑」で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDライト点滅が数分間続きます。

受信できなかった場合

LEDライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。

右記「電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

4. チャイム、数取りを設定してください

切替スイッチA、Bでチャイム、数取りの設定をしてください。スイッチの位置により以下ようになります。

	常時(1日中)鳴らす	暗時鳴止め	常時(1日中)鳴止め
15分間隔の電波受信	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
チャイム数取り	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム
1時間毎の電波受信	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
チャイム数取り	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム
30分間隔の電波受信	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
チャイム数取り	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム	数取りのみ → 四所 のみのチャイム 正時チャイム

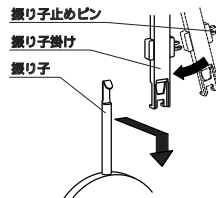
光センサーによる自動鳴止めについて
切替スイッチAを暗時鳴止めにすると、暗いところ(約10ルクス以下)では報時しません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみになれます。
暗くしても音を鳴らす場合は切替スイッチAを常時鳴らすにしてください。

ボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。

MAX — 音量 最大
MIN — 音量 最小

5. 振り子を掛けてください

振り子掛けを左に動かして振り子止めピンからはずし、ぶらぶらの状態にして、振り子を掛けてください。



6. ふたを開けてください

裏ぶたを元の通り開けてください。

7. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
明るくなると「0秒」に合わせて秒針が動き出します。
秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示します。
切替スイッチAを「常時鳴らす」にしますと、暗くなくても秒針は止まりません。

その他の機能

受信状態について

リセット後の受信中、または強制受信中は、以下のようにLEDライトの色によって受信状態を表示します。
ただし自動受信中はLEDライトは点灯しません。

LEDライトの状態	受信状態
「緑」が点灯	電波状態が良く受信可能
「緑」が点灯、たまに「赤」が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
「赤」と「緑」が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
「赤」が点灯し、たまに「緑」が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
「赤」が点灯	電波状態が悪く受信不可(受信開始後最初の約2秒間は必ず「赤」が点灯します)

受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン(Aボタン)を1回押す(2秒以下)と以下のようにLEDライトの色によって電波受信結果を表示します。
「緑」が点滅: 24時間以内に受信に成功しています。
「赤」が点滅: 24時間以内に一度も受信できていません。

自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
受信中(最長約20分間)は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針: 12時の位置で停止
分針: 約30秒毎に連針

電波が受信できなかった場合

1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン(Aボタン)をLEDライトの「赤」が点灯するまで(約2秒)押し続けると、針が停止し受信を開始します。
受信に要する時間は、最長約20分間です。
受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。
(上記「受信状態について」をご覧ください。)
受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。

詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせることができず

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
モードボタン(Bボタン)を針が停止するまで(約2秒)押し続けてください。

受信ボタン(Aボタン)を1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
モードボタン(Bボタン)を押すと同時に、針が動き出します。

受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

動作	鳴止め (切替スイッチA-鳴止め)	試し鳴らし (モニター)	強制受信	受信結果表示
報時中	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	無効	受信結果を表示する
自動受信中	—	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
強制受信中	—	無効	—	無効

試し鳴らし(モニター)について

モニターボタンを押すと、チャイムを演奏したあとに数取りを3回行ないます。
強制受信中は試し鳴らしはできません。
試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチAを一旦常時鳴らすまたは暗時鳴止めに合わせてから鳴止めにしてください。

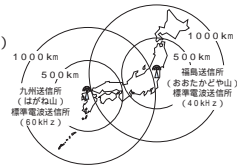
電波クロックについて

電波時計/電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

標準電波とは
情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2ヶ所)からおおむね1000km~1200kmです。この製品は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



ご注意

電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。
(ホームページアドレス <http://www.seiko-cbck.co.jp>)

使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに置いてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
ビルの中、ビルの谷間、地下。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起る所。
乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
その他電波ノイズを発生させるもの近く。
スチール机等の金属製の家具の上や近く。



自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。(誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などに使用してください。)

受信ボタン(Aボタン)とモードボタン(Bボタン)を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。

LEDライトの「赤」と「緑」が5回同時に点滅したら受信ボタン(Aボタン)とモードボタン(Bボタン)を放してください。

秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出します。秒針が再び動き出したら、左記「電波が受信できなかった場合」2.手動で時刻を合わせることができず」にしたがって時刻を合わせてください。

この機能を設定した後も受信ボタン(Aボタン)をLEDライトの「赤」が点灯するまで(約2秒)押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

ご注意

この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
時計を輸送する場合は電池と振り子をはずし、振り子掛けを元の通りに固定してください。

必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

⚠ 警告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったりは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

<掛け方について>

時計は**確実に**掛けてください。落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さから耐えられる掛け具を選んでください。記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かかし、正しく掛かっていることを確認してください。



木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



暑い場所 (+50℃以上)

●温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。



寒い場所 (-10℃以下)

●温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]



振動の激しい場所

●壁、埃の多い所。
[空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が無くなる場合があります。]



湿気の多い場所

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
[磁気の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。]

●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。
[霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。]

●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

⚠ 注意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を超過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはすしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

製品仕様 ▶

- 精度：平均月差±2.0秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温5℃から35℃で使用した場合)
- 表示精度：±1秒(時分針は±3度)
(電波受信による時刻修正を行なった直後)
- 使用温度範囲：-10℃~+50℃
- 使用電池：単2アルカリ乾電池2個(JIS規格LR14)
単3マンガン乾電池1個(JIS規格R6P)
- 電池寿命：約1年
(下記報時①の設定で、1日につき音量(中)の状態で16回報時した場合)
- 電波受信機能：自動受信(1日8回)
(受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。)
手動受信(強制受信)
※4.0kHz、6.0kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
- 受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
- 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
- 報時：①ウエストミンスター・チャイム + 数取り
②ウエストミンスター・チャイムの四所打ち
(正時には数取りも行います)
③正時数取りのみ
①~③の切替式
- 夜間鳴止め機能：光センサーによる自動鳴止め
(「常時鳴らす」「暗時鳴止め」「鳴止め」の切替式)
- 音量調節：無段階式

保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については別途の保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外へはできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、7年間保有しています。この期間を原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただけます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。
- ご不明の点はお客センターにお問い合わせください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、濡った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほりこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。
- ※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れが大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、KG000など)

フリーダイヤル
お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

①

説明書番号 ARQ-009J

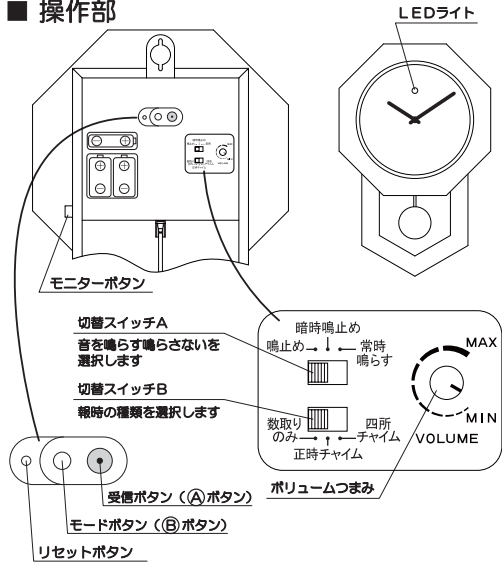
故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	●電池が入っていない。 ●電池が正しい向きで入っていない。 ●電池端子や接片が汚れている。 ●静電気などによりマイコンが誤作動している。 ●受信終了後、通常の進針に戻ります。	●指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ●電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2~3回まわしてください。 ●リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	●受信中または時刻修正中である。	●受信終了後、通常の進針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	●受信中または時刻修正中である。 ●リセット後、受信動作中である。	●時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
報時が合っていない	●受信が成功していない。 ●電池が古くなっていない。 ●きちんとリセットされている。	●裏面「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ●指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ●確実にリセットボタンを押してください。
チャイムが鳴らない	●切替スイッチAが鳴止めになっている。 ●ボリュームが下がっている。 ●鳴りなりセンサーが作動している。	●スイッチを 増幅鳴らす または 暗時鳴止め にしてください。 ●ボリュームを上げてください。 ●切替スイッチAが 暗時鳴止め になっていると鳴くるとチャイムは鳴りません。時計の周囲が明るくなるとうちります。
振り子が動かない	●電池が入っていない。 ●電池が正しい向きで入っていない。 ●振り子がロックされている。	●指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ●裏面「■使用方法」にしたがって、振り子のロックをはずしてください。

ご使用方法

■ 操作部



ご注意

時計のデザインによりLEDライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



■ ご使用方法

1. ふたを開けてください

裏ふたを上にはきあげて開けてください。

2. 電池を入れてください

(単2アルカリ乾電池2個、単3マンガン乾電池1個)

⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。

3. リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。(1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10)

●受信中(最長約20分間)はLEDライトが信号に応じて点灯します。(右記「■受信状態について」をご覧ください。)

●受信に成功した場合

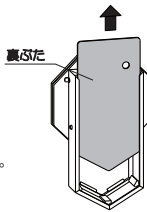
LEDライトが「緑」で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDライト点滅が数分間続きます。

●受信できなかった場合

LEDライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。

右記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。



4. チャイム、数取りを設定してください

① 切替スイッチA、Bでチャイム、数取りの設定をしてください。スイッチの位置により以下ようになります。

	常時(1日中)鳴らす	暗時鳴止め	常時(1日中)鳴止め
切替スイッチA	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
切替スイッチB	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム
モードボタン	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム	数取りのみ ↑ 四所 正時チャイム

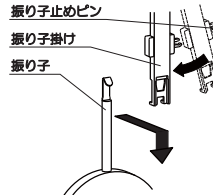
●光センサーによる自動鳴止めについて
切替スイッチAを暗時鳴止めにすると、暗いところ(約10ルクス以下)では報時しません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみになれます。暗くなくても音を鳴らす場合は切替スイッチAを常時鳴らすにしてください。

② ボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。

MAX — 音量 最大
MIN — 音量 最小

5. 振り子を掛けてください

振り子掛けを左に動かして振り子止めピンからはずし、びらびらの状態にして、振り子を掛けてください。



6. ふたを閉めてください

裏ふたを元の通り閉めてください。

7. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

その他の機能

■ 受信状態について

リセット後の受信中、または強制受信中は、以下のようにLEDライトの色によって受信状態を表示します。ただし自動受信中はLEDライトは点灯しません。

LEDライトの状態	受信状態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能 (受信開始後最初の約2秒間は必ず“赤”が点灯します)

■ 受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン(Aボタン)を1回押す(2秒以下)と以下のようにLEDライトの色によって電波受信結果を表示します。“緑”が点滅: 24時間以内に受信に成功しています。“赤”が点滅: 24時間以内に一度も受信できていません。

■ 自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行います。受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
●受信中(最長約20分間)は針が不規則な動きをすることがあります。秒針: 12時の位置で停止
分針: 約30秒毎に連針

■ 電波が受信できなかった場合

1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン(Aボタン)をLEDライトの“赤”が点灯するまで(約2秒)押し続けると、針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。

- 受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。(上記「■受信状態について」をご覧ください。)
- 受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
- 詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。また、夜間は風間にくらべて受信状態が良くなりますので、風間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① モードボタン(Bボタン)を針が停止するまで(約2秒)押し続けてください。
- ② 受信ボタン(Aボタン)を1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
- ③ モードボタン(Bボタン)を押すと同時に、針が動き出します。

■ 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

動作	鳴止め (切替スイッチA-鳴止め)	試し鳴らし (モニター)	強制受信	受信結果表示
報時中	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	無効	受信結果を表示する
自動受信中	—	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
強制受信中	—	無効	—	無効

■ 試し鳴らし(モニター)について

モニターボタンを押すと、チャイムを演奏したあとに数取りを3回行ないます。

- 強制受信中は試し鳴らしはできません。
- 試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチAを一旦常時鳴らすまたは暗時鳴止めに合わせてから鳴止めにしてください。

電波クロックについて

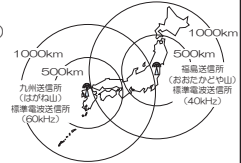
■電波時計/電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『セシウム原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2ヶ所)からおおむね1000km~1200kmです。この製品は4.0kHz(東・福島送信所)、6.0kHz(西・九州送信所)のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない場合があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で時計します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様センターにお問い合わせください。(ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>)

■使用場所について

- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下。
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - 工事現場、空母や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起る所。
 - 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)。
 - その他電波ノイズを発生させるもの近く。
 - スチール机等の金属製の家具の上や近く。



■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。(誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などに使用してください。)

- ① 受信ボタン(Aボタン)とモードボタン(Bボタン)を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
- ② LEDライトの“赤”と“緑”が4回同時に点滅したら受信ボタン(Aボタン)とモードボタン(Bボタン)を放してください。
- ③ 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出します。
- ④ 秒針が再び動き出したら、左記「■電波が受信できなかった場合2. 手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

- この機能を設定した後も受信ボタン(Aボタン)をLEDライトの“赤”が点灯するまで(約2秒)押し続けると強制受信を開始します。その後自動受信はしません。
- この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■ ご注意

- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 時計を輸送する場合は電池と振り子をはずし、振り子掛けを元の通りに固定してください。